学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学　兵庫医療大学

vol.207
2010年8月号

兵庫医療大学薬学部 開学４年目を語る

最近の主な出来事、トピックス

平成２３年度兵庫医科大学・兵庫医療大学　入学試験概要

職場リポート

海外便り／多彩人

大学探訪　兵庫医療大学「ふくろうの泉」（噴水）
（センタープラザ）

ポートアイランド内で浄化された再生水を利用する「ふくろうの泉」の中央には、三羽の梟の彫刻があります。梟は西洋で「知の象徴」であるとされており、建学の精神である「社会の福祉への奉仕・人間への深い愛・人間への幅の広い科学的理解」を、神戸の港から未来に向かって羽ばたこうとする三羽の梟に託しました。三羽はそれぞれ「気づく」「学ぶ」「羽ばたく」のポーズをしています。他にも、Ｐ棟エントランスホールのステンドグラスで梟を見ることができます。

様々な疑問に首をかしげ幅の広い科学的理解の必要性に"気づく"

学友との交流や臨床体験を通じて人間への深い愛を"学ぶ"

社会福祉への奉仕を目指して世界へ"羽ばたく"

目次

01　大学探訪(表紙について)／目次
02　兵庫医療大学薬学部：開学４年目を語る
07　最近の主な出来事
■　兵庫医科大学
09　学生部長メッセージ「誇りを持てるクラブにしよう！」／文部科学省高等教育局医学教育課長が本学を視察
10　名誉教授称号授与／平成２１年度ベストティーチャー賞決定／平成２１年度教員および大学院生学術賞授与
11　教授就任挨拶
12　平成２２年度公的資金・教員研究費助成配分決定
13　財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況・平成２２年度大学院学生研究助成交付決定／ 学位授与
14　平成２３年度兵庫医科大学入学試験概要／大学院入学試験概要
15　兵庫医科大学キャンパス見学会を実施／自作の絵本を小児病棟に寄贈
16　病院機能評価Ver. ６．０再受審について／ささやま医療センター 市民公開講座「地域医療の新たな視点」を開催
■　兵庫医療大学
17　兵庫医療大学薬学部・兵庫医科大学病院合同イベント「"クスリ"のお仕事のぞいてみませんか？」を開催／
　　兵庫医療大学オープンキャンパスを実施
18　平成２３年度兵庫医療大学入学試験概要
■　学校法人兵庫医科大学
19　規程等の制定・改正
20　学校法人兵庫医科大学基金 状況報告／山田人材対策室長が日本看護協会長表彰を受賞
21　海外便り　～海外で活躍する研究者からのメッセージ～
　　カリフォルニア大学サンディエゴ校
　　School of Medicine　Department of Medicine　Assistant Research Scientist　石　亦宏さん
　多彩人
　　兵庫医療大学 共通教育センター 教授 磯　博行さん
22　職場リポート
　　兵庫医科大学 学務部 研究技術第１課
　　兵庫医科大学病院 看護部 １０－７病棟
　　兵庫医科大学ささやま医療センター 篠山事務部 会計課

兵庫医療大学薬学部：開学４年目を語る

兵庫医療大学では平成２３年３月に看護学部とリハビリテーション学部から第１期生が卒業します。学生たちは進むべき方向を見極めながら、国家試験対策や秋の実習に向けて頑張っています。そして、その２年後には薬学部の第１期生が卒業します。

平成１８年にスタートした６年制薬学教育では、約半年間の病院及び薬局での実務実習、全国共用試験（CBT、OSCE）や薬学教育第三者評価など、従来の４年制薬学教育には無かった新カリキュラムなどが追加されました。また、薬学部を新設する大学が増え、他校との差別化が求められる状況において、兵庫医療大学は独自の６年制薬学教育の実践に取り組んできました。

今年の４月には大阪大学から薬学教育研究、大学管理運営のエキスパートである馬場 明道副学長を迎え、全教職員が一体となって薬学部の発展を追及していきます。今回、馬場副学長と、薬学部設立時から本学運営に携わって来られた東学部長、前田教授、西山教授に、改めて薬学教育の現状と兵庫医療大学の薬学教育の強みやこれからの展望を語っていただきました。

馬場 明道（前列左）
兵庫医療大学副学長・薬学部教授。薬学教育研究、大学管理運営の経験者として、兵庫医療大学運営に関わる。大阪大学名誉教授、日本学術会議連携会員、日本薬学会副会頭、大阪大学経営協議会委員、大阪府薬事審議会会長、（社）日本薬理学会前理事長、日本薬学会賞受賞（平成１９年度）。
大阪大学薬学部卒業 、同大学院薬学研究科修了（薬学博士）、同大学院薬学研究科教授、薬学部長、大阪大学理事・副学長を歴任。

東　純一（前列右）
兵庫医療大学薬学部学部長・教授。臨床医、薬学教育研究の実践者として、兵庫医療大学設立構想立案者の一人。
大阪大学医学部卒業、同医学部教授、同薬学部客員教授（臨床薬効評価学講座）、同大学院薬学研究科教授（臨床薬効解析学分野）、同医学系研究科教授（現循環器内科学）、薬剤師国家試験委員、日本臨床薬理学会理事、日本TDM学会理事を歴任。

前田 初男（後列左）
兵庫医療大学薬学部教授。国立大学での化学系薬学教育研究の実践者として、開学から現在まで中心となって本学運営に携わる設立メンバー（主に入試制度を担当）。
大阪大学薬学部卒業 、同大学院薬学研究科修了（薬学博士）。同大学院薬学研究科助教授、アメリカ合衆国ミネソタ大学化学科客員研究員を歴任。

西山 信好（後列右）
兵庫医療大学薬学部教授。国立大学での医療系薬学教育研究の実践者、文科省（厚労省）の薬学教育施策の精通者として、同じく本学運営に携わる設立メンバー（主に教務関係を担当）。
東京大学薬学部卒業、同大学院薬学系研究科（薬学博士）、同大学院薬学系研究科・助手、米国ＮＩＨ訪問研究員（平成３年～５年）、同大学院薬学系研究科・助教授、文部科学省薬学専門官を歴任。

馬場 明道
兵庫医療大学副学長・薬学部教授

他に類を見ない薬学部の設立へ

馬場副学長（以下、**馬場**）：今年で学校法人兵庫医科大学のもとに兵庫医療大学が開設されて４年目です。いよいよ看護学部、リハビリテーション学部の第１期生を送り出す年度となり、薬学部においては全国共用試験（CBT、OSCE）、実務実習など新たに追加されたカリキュラムがスタートします。この薬学教育の６年制移行に伴って、薬学部の教育環境は激変しています。今日は、今後どのような戦略で兵庫医療大学の薬学を発展させていくか、創立時から６年制薬学教育の設立に携わってこられた先生方に忌憚の無い意見をお聞きしたいと思います。

東学部長（以下、**東**）：今までの薬学教育では不十分とされていた「医療人としての教育」を重視する目的で、平成１８年度から薬学教育の６年制が認められ、薬剤師の資格試験も６年制薬学教育に特化したものとなりました。この改正に前後して、多くの私立大学で既存薬学部の定員増や薬学部新設が続き、受験生確保、人材育成で厳しい競争が各大学に課せられています。平成２２年度の私立大学、薬科大学の全５７校の６年制薬学教育の総学生定員は１万１千人に及び、国公立の１６校を加えても、数千人の卒業生増加が見込まれます。平成１９年に開学した本学は平成２２年７月現在で６４９名が就学しています。開学時に内定していた教員もほぼ着任し、薬学部全体が活気に溢れています。新設大学として試行錯誤を重ねつつ、着実にその地位を高めてきました。

本学の設立構想に携わった際、「国試の予備校にしない」「教員は全て公募する」「国際化を推進する」という３つのことを掲げました。国際化については課題が残っていますが、若くて意欲の高い教員が全国から集い、私立大学ならではの細やかで多彩な６年制薬学教育を実践し、また教育のみならず研究面でも本学の強みとなって現れてきています。

西山教授（以下、**西山**）：６年制薬学教育では、新たに約半年間の実務実習と全国共用試験（CBT、OSCE）などが導入され、従来と同じ考え方で薬学教育に携わるのは厳しいと予想されました。教育業務に加えて、新設大学の６年制薬学部として全体的な仕事にも意欲を持って臨んでいただける教員を我々は求めました。本学には新設大学、新設学部として、最初から６年制薬学教育を行うために若くて志の高い教員が集結し、兵庫医療大学ならではの薬学教育を展開していると言えます。兵庫医科大学からも多くの医学博士や臨床経験の豊富な先生方に来ていただき、法人全体で兵庫医療大学をバックアップしよう、という体制も他大学にはない特徴だと思います。

前田教授（以下、**前田**）：本学には、薬学、医学、工学など様々な領域を専門とし、公立大学、私立大学に加

東　純一
兵庫医療大学薬学部学部長・教授

えて製薬企業などでの活躍経験がある教員が着任しています。多種多様な形態で教育、研究、診療されてきた方々の知識と経験をうまく融合し、薬学部を立ち上げることができたことも、本学の長所ですね。

馬場：現役で臨床をしながら医療薬学の教育・研究をされている教員がいることは貴重です。本学のように同一法人に医科大学・病院があり、また同一大学の薬学部、看護学部、リハビリテーション学部が総合的に医療に関わりながら各教育、研究を行い、特に「チーム医療」を掲げて各学部間の合同カリキュラムや交流をしているところは大きな強みです。東学部長は臨床医の観点から、医学・医療に近いところで教育・研究をすることのメリットはどこにあると思われますか？

東：臨床経験のある教員は症例をもとに患者さんを中心とした話ができます。通常では、薬学部学生が

前田 初男
兵庫医療大学薬学部教授

低学年のうちからこのような教育を受けられる機会はあまりありません。早い段階で「薬」から発する考え方だけでなく、「人」から発する考え方を身につけることは、将来の医療人としてのメリットとなります。また、医師と薬剤師では薬に対する考え方において、微妙に差があると感じています。例えば、医師は薬を通常「何錠」と捉えますが、薬剤師は「何ミリ」などの単位で捉えます。薬に対する概念を共有できるという点で、医科大学にとってもメリットだと思っています。

馬場：薬剤師はこれまで医療の中心から少し離れたところに位置していました。「薬学」「医療薬学」という言葉も「薬剤師職能」という限局された教育、技術でしかありませんでした。東先生の言われるように、本学では、もっと広義の、医学・医療全体の中で「医療薬学の役割は何か」を学び、感じ取ることができる環境になっていると言えるのですね。

研究レベルは？

馬場：正直驚いたのですが、平成２１年、２２年の科学研究費取得状況が大変いい傾向にあります。全国の研究者を登録している５２０余の私立大学の中で、本学が９６位にランキングしていますね。教員を公募し、研究熱心な方が集まっている結果でしょうか。

西山：教員採用時には、研究テーマや業績も精査し、「新設大学の教育業務と並行して、研究を推進させる志が高いか」、という点も重視しました。全国的に９６位、近畿の薬学部を有する私立大学８校中で３位という、新設校としては大変素晴らしい成果をこの３年間で遂げています。６年制教育の構築と実施のため、おそらく他学部では予想できないような多忙な時間を送っている薬学部の教員が、限られた時間の中で研究への時間を見つけ、必死で頑張っています。

馬場：私も、この４カ月の間で西山先生の言われることを実感しています。先生方の必死の頑張りに対して敬意を表したいですね。また、出来るだけ早い時期に、教育も研究も、余裕を持ちながら進めていけるような環境整備をしなければと思います。

入学後のフォローは？

馬場：いわゆる「ゆとり教育」の影響で、学力の低い学生が存在することは否めません。入学後のフォローとして、学生、保護者、教員の三者間が一体化した体制作り、長期密着型ゼミナールなどを利用した学生のモチベーションを維持する取り組み、学力アップ対策などがあります。本学は松田学長の方針もあって、キャンパス内にフリースペースが多く設けられており、学生や教員が集まって自由に課題に取り組む姿をよく見かけます。

フリースペース

西山：本年度前期から低学力の学生に基礎的な学習能力を身につけてもらうための教育を実施しています。また、推薦入試合格者を対象

西山 信好
兵庫医療大学薬学部教授

に入学前の補習教育によって、入学後の勉学をスムーズにするための支援も開学以来行ってきました。さらに、学力に関係なく、教員と保護者が情報共有し、一緒に学生をサポートする環境作りの一つとして、保護者対象のメールマガジンの発信もスタートしたところです。それに加えて、１学年（約１５０名）を４クラスに分け、１クラスを２名の教員が担当し、メール等を利用して細やかなケアをしながら、学生の置かれている状態をリアルタイムに得ることができる体制を敷いています。全ての学生に対して細やかなフォローをする点も、本学の特徴だと思います。

前田：「薬学をしっかりと学びたい」という強い意志をもった学生は、どの学年にもいます。そういった学生のモチベーションを下げることなく、しっかりと育てていきたいと思っています。２年生からスタートする長期密着型ゼミナールは、医療人や社会人としての「マインド」の涵養が目的です。最近では、コミュニケーション方法ですらマニュアル化されているのには吃驚です。教育でも研究でも重要なことは、やはりマインドですね。教員と学生が共にマインドを鍛える場として、大いに期待しています。実際、長期密着型ゼミナールにおいて研究マインドに目覚めた学生が、２年生の秋から研究に取り組みはじめ、この秋、日本薬学会近畿支部会で研究発表を行うことが決まりました。本学初の学生発表です。嬉しい話ですね。

長期密着型ゼミナール

馬場：専門科目の講義も始まっていますが、薬学部の学生さんの印象はいかがですか？

前田：すごくまじめですね。積極的に教員室のドアを叩き、分からないところを質問する学生が驚くほど多くいます。学生達と教員の距離が近いことは本学の特徴ですね。これも、長期密着型ゼミナールの副産物でしょうね。ただし、個々の専門科目間を結びつけるのが下手な学生が多いのも事実です。基礎系薬学の科目担当教員が医療系薬学を意識して講義し、医療系薬学の科目担当教員が基礎系薬学を意識して講義する、といった工夫をして、トータルで学べる教育をしていきたいですね。

西山：図書館や体育館を夜９時まで学生に開放していますが、積極的に活用してくれています。また、前田先生のお話にもありましたが、薬学部教員は少々多忙であっても、いつでも学生の質問に応えるようにしています。試験が近付くにつれて急増するのが困りものですが、これも学生の到達度アップに役立っていると思います。

医学系教育との連携・融合 ～兵庫医科大学との連携～

馬場：本学の薬学部は学校法人の中で、医学部、看護学部、リハビリテーション学部と一体の教育・研究が実施できる点において、他に類を見ない恵まれた環境にあると思います。少し、具体的に紹介していただけますか。

東：医療は患者さんに目を向け、患者さんを中心に考えることが原点です。従来の薬学は物質としての医薬品を学ぶことが中心となっていましたが、これからは人との関わりを重視しなければいけません。そのためにも、低学年のうちから実習などを通して患者さんと接し、また他のコメディカルや様々な職種の方と交流することはとても大切です。研究をする上でも同様で、本学の学生は医療人として社会に出るだけでなく、医療人の心を持った研究者としても社会に羽ばたいてほしいので、常に「人と接する教育」を大切にしたいと考えています。

西山：昨年度から、本学の３学部１年生と兵庫医科大学の医学部１年生の４学部合同チュートリアルを神戸キャンパスで行っています。今年度からは、本学４年生と医学部３年生のチームによる、患者さん中心の医療をともに考えるチュートリアル教育を西宮キャンパスで実施する予定です。また、薬学部では珍しい病理学の授業が必修科目であったり、選択科目で救命救急センター医師に救急現場の視点で授業をしてもらったり、いずれも兵庫医科大学と同一法人ならではのカリキュラムがあります。５年次の実務実習では、同一法人内の病院薬剤部に出来る限り多くの学生を教育していただくことが可能である、ということも他大学にはない特徴です。

４学部合同チュートリアルのグループ別発表会

入試は？特別奨学金制度とは？

馬場：本学の医療薬学教育においては、包括的に「患者さんを含めた医療全体の中における薬剤師の役割がわかる」教育を目指していますが、まずは優秀な学生を確保し、育成することが重要課題です。本学の入試の特徴を教えてください。また、本学は極めて独自性の高い奨学金制度を導入しました。それはどのようなものですか？

前田：薬学部では本年度から化学重視型の入試制度を実施します。また、入試回数も増やします。これで、化学に興味がある受験生が受験しやすくなるでしょう。しかし、６年制になり経済的負担が増えたことから、全国的に入学定員を割る大学が出ているのが現状です。高校の先生方も「薬学で学びたいが、授業料がネックで二の足を踏んでいる学生は多い」とよく言われます。そういうことも含めて、来年度から入学生と在学生に対する「特別奨学金制度」を設立します。「特待生入試制度」のように入試限定ではなく、全学生を対象に成績優秀者に資金的援助を行うもので、１年生については入試の結果で選考させていただきます。

特集 兵庫医療大学薬学部：開学４年目を語る

東：この奨学金制度がきっかけとなって、兵庫医療大学に興味をもつ受験生が増えてくれれば、と期待しています。また、入学後も頑張れば大いなるメリットがある、たとえ入学時の成績が良くなくても向上すればこの制度の恩恵を受けることができる、というのは在学生にとっても励みとなります。『入学から卒業まで、がんばるキミをサポートします』はこの奨学金制度のキャッチコピーと言えるものですが、我々の思いを表したつもりです。

卒業後の進路は？

馬場：平成１８年に６年制がスタートし、本学より先行して６年制薬学部を卒業する学生の就職活動が全国的には事実上スタートしています。薬学部の卒業後の進路は今後どのように変化するでしょうか。

西山：従来の４年制の薬学部卒業後の進路パターンは調剤薬局、病院薬剤部、大学院、公務員、製薬企業、その他の企業などでした。６年制ではおそらく大学院の博士課程への進学者は減るであろうと推測されており、新たに臨床開発の製薬企業や、製薬企業から委託をうけたCROなど臨床開発の分野が増えてくると思われます。２年も増やして学んだことを活かし、活躍できる場は拡がっていくと思いますし、我々教員が拡げないといけないと思っています。

前田：６年制薬学部の教員として活躍できるような薬剤師を育てることも私達の目標の一つです。そのためにも化学系、物理系の基礎研究に取り組める学生を育て、研究者、教育者として活躍できる場を提供できるように、私達も頑張らなくちゃ、ですね。また、製薬企業などで分析化学や物理化学などが重要視されていますので、基礎化学系が強い学生もしっかりと育てて行きたいですね。

東：６年制薬学部を卒業した学生が立派な「医療人」薬剤師に育っていくことは当然ですが、本学独自の教育を受けた薬剤師として、将来の薬学部の教育を担う薬剤師の資格をもつ「教育者」、薬剤師の資格をもつ「研究者」を輩出したいと思っています。また、希望通りの進路を進むことができるよう、個々の学生がしっかりと知識と技術を身につけ、人間性を磨き、コミュニケーション能力を身につけられるよう、育てていきたいと思っています。さらに６年生薬学部出身者のみならず薬科学分野での教育者や研究者を輩出するために、他大学には成し得ないような、兵庫医科大学と連携した大学院設置についても構想中です。

馬場：健康維持、安全・安心をキーワードとするこれからの社会において、狭義の薬剤師業務に限定することなく、先生方が今、述べられたような幅広い領域で活躍できる人材を育てていかなければなりませんね。そして我々も薬学出身者の優位性を喧伝し、かつ社会に実証しなければなりません。学校法人兵庫医科大学の一翼として、卒業後の進路を考えられることも本学のメリットです。いい方向に展開していけるよう、法人全体に協力をお願いしたいですね。

最後に

西山：かつて全国の薬学部の入学者は約８千人でしたが、４年制定員も含めて今や１万３千人になろうとする中、本学校法人は薬学部を発展させてきました。全国から教員を公募して、新しいカリキュラムの展開、医学部学生とも共同に受講するチーム医療教育など、全国的にもユニークな取り組みを実践していますが、卒業後の希望をかなえてあげてこそ、教育の完成です。兵庫医科大学病院をはじめ、学校法人兵庫医科大学連携病院の会、さらに関連薬局に、本学の特徴ある教育を受けた学生が活躍できる機会を太く、長く提供していただきたいと思います。兵庫医科大学同窓会「緑樹会」の先生方にも、本学学生の活躍の場を与えていただけたらと思います。

前田：出口をどのように確保していくか、薬学教育にとっても今後の重要課題。学生たちが希望する進路に進めるような資質を育て上げたいと思います。学内にキャリアデザインセンターもあり、進路・就職支援も充実させていきます。教職員が協同して、良い結果を出せるように頑張りたいですね。

東：入試システムの改善・改良を着実に行い、在学生の教育に対しても試行錯誤を重ねながら前進していると自負しています。卒業後についてはまだ不鮮明なところもありますが、目標を定めて進むしかありません。入学してくれた学生が満足するのは当然ですが、教職員自身も満足できるゴールを目指して進まなければなりません。

馬場：ありがとうございました。構想から設立の中核を担ってこられた先生方にお話を伺い、兵庫医療大学薬学部がいかに充実し特徴ある教育を実践しているか、発展性があるかを再認識しました。平成１８年の６年制導入スタートから１年遅れて新設されましたが、学校法人兵庫医科大学のもと、他校を圧倒する薬学部として地歩を固めるべく一致団結して頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

最近の主な出来事

6月 June

5	■兵庫医療大学	公開講座「クスリの効果・副作用に関する『因縁ばなし』」(薬学部　東　純一 教授)	
9	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「貧血について 」 (総合診療科　園野　大介 学内講師)	
11	■兵庫医療大学	教員対象入試説明会	➡
12	■兵庫医科大学病院	平成22年度第1回兵庫肝疾患診療連携フォーラム	
15	■兵庫医科大学	文部科学省視察(高等教育局医学教育課)	P9
17	■兵庫医科大学	学位授与	P13
19	■兵庫医療大学	薬学部・兵庫医科大学病院合同イベント「"クスリ"のお仕事、のぞいてみませんか？」	P17
23	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「慢性腎臓病と糖尿病 」(腎・透析科　名波　正義 学内講師)	
24	■兵庫医療大学	文部科学省　大学設置アフターケア実地調査	
26	■兵庫医科大学 ささやま医療センター	市民公開講座「地域医療の新たな視点」	P12
28	■兵庫医科大学	環境省エコチル調査説明会	➡
29	■兵庫医科大学	教員対象入試説明会	➡

7月 July

2	■学校法人兵庫医科大学	急性医療総合センター建設計画を発表	➡
3	■兵庫医療大学	「ポーアイ4大学による連携事業」ユーザ参加型医療デザイン・ワークショップ『保険薬局をデザインする』	
9	■兵庫医療大学	全国同時七夕講演会2010「みそ汁と太陽」(共通教育センター　加藤　精一 准教授)	
14	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「炎症性腸疾患」(下部消化管科　吉田　幸治 助教)	
17	■兵庫医科大学病院	阪神病病連携実務者連絡会	
24	■兵庫医科大学	第28回医学教育ミニワークショップ(～25日)	
28	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「肺がんの話」(呼吸器・RCU科　福岡　和也 准教授)	
31	■兵庫医科大学病院	第10回地域医療懇談会	➡

6/11 ■兵庫医療大学
教員対象入試説明会

M棟１階Ｍ１１３講義室において高等学校及び予備校の先生方を対象とした説明会を開催し、４８校にご参加いただきました。平成２２年度入学試験の総括、平成２３年度入学試験の概要と変更点の説明、各学部・学科の説明及び質疑応答、高大連携についての案内などを行った後、キャンパス見学や個別相談を行いました。

7/31 ■兵庫医科大学病院
第１０回地域医療懇談会

医師会及び地域医療機関との連携を深めるためノボテル甲子園で開催し、１２８名(院外７３名、院内５５名)にご参加いただきました。特別講演では、本学病院呼吸器・RCU科の中野 孝司診療部長による講演「肺癌を見落とさないために～肺癌診療における地域がん診療連携拠点病院の役割～」に続き、中央社会保険医療協議会委員・赤穂市民病院 名誉院長の邉見 公雄先生に「『生命(いのち)輝かそう兵庫医大　地域医療連携の仲間』～低医療費政策を乗り越えて～（一(いち)地方病院のささやかな試み)」という演題でご講演いただきました。

6/28 ■兵庫医科大学
環境省エコチル調査説明会

兵庫医科大学は環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」に参加し、平成２３年１月より尼崎市在住の妊婦さんと出生されるお子さんを対象とした調査を開始する予定です。この調査にご協力いただく医療機関の先生方を対象に説明会を開催しました。環境省、国立環境研究所、尼崎市保健所からもご参加いただき、調査計画の概要について説明を行った後、質疑応答や調査を円滑に進めるための方法などについて活発な意見交換が行われました。

6/29 ■兵庫医科大学
教員対象入試説明会

第２会議室において高等学校及び予備校の先生方を対象とした入試説明会を開催し、３０校にご参加いただきました。平成２２年度入学試験の総括、平成２３年度入学試験の概要、質疑応答、学習支援制度の説明などを行った後、希望者には個別相談・キャンパス見学などを行いました。

7/2 ■学校法人兵庫医科大学
急性医療総合センター建設計画を発表

学校法人兵庫医科大学は、兵庫医科大学病院敷地内に急性医療総合センターを建設する計画をまとめ、その概要を報道機関に発表しました。

本学敷地は平成１９年に西宮市の条例で「災害拠点医療地区」に指定されています。今回、救命救急センター、手術室、集中治療室など災害拠点病院及び高機能病院として必要な機能を集約し、大規模災害時及び事後も機能し得る施設として、急性医療総合センターを１０号館東側に建設する予定です。平成２２年１１月末までに設計をまとめ、平成２３年３月に着工し、平成２５年１月の完成と同年６月の開設を目指します。

このセンターは、自己資金や寄付金等の他、国からの医療施設耐震化臨時特例交付金を建設資金の一部とし、建物は免震構造で建設されます。

＜建築概要＞
建物名称：急性医療総合センター
建物場所：西宮市武庫川町１－１（１０号館東側）
建物面積：　２，５８１㎡
延床面積：１５，４０１㎡
構造種別：鉄筋コンクリート造、免震構造
階　　数：地上７階建、地階なし
建物高さ：約３５．８m
工事期間：平成２３年３月　～　平成２５年１月〔予定〕
開設予定：平成２５年６月〔予定〕

＜建物用途＞
救命救急センター（１，２階)、ＩＶＲセンター（１階)、
集中治療センター（３階)、
手術センター・アイセンター（４，５階)、
周産期センター（６階)、設備室（７階）

兵庫医科大学

誇りを持てるクラブにしよう！

兵庫医科大学 学生部長
越久　仁敬

私は学生時代、ボート部に所属していました。大学を卒業して３０年近く経ちますが、繋がりは薄まるどころか年々深まる一方です。今でも、OBの先輩・後輩の諸先生方には何かにつけお世話になっていますし、平成２２年６月２０日には対校戦のOBレースでシェルフォアを漕ぎました。お世話になっているから、自分も何とかしてクラブや部員、若いOBに恩返しがしたいと自然と思えます。

兵庫医科大学では残念ながらクラブ総会を開いていないクラブが多いようです。OBのサポートがしっかりしているクラブは強くなります。そのためには、部員は、しっかりと年次報告（戦績や活動の報告、収支決算の報告）をし、年次計画を立て、OB名簿を整え、部報を持って相談やご寄付のお願いにOB巡りをするべきです。私も３０年前には、このようなことをクラブのOBの先生方から厳しく言われてきました。自分が言う立場になって、はじめて、厳しい小言を呈してくださったOBの先生方のありがたみがよくわかります。その場だけ、楽しければいい、というのでは同好会です。そのレベルで満足するクラブは、自ら同好会に降格してもらいたいと思います。

私が卒業した大学にも忘れ得ぬOBの先生方は大勢いますが、中でも松田孫一先生の生き様には、大変感銘を受けました。松田先生は、第二次世界大戦に軍医として従軍し、被弾して重傷を負い、衛生兵に命じて自らの腕を切断されました。復員して、隻腕でありながらも外科医を続けようとされましたが、結局、黎明期にあった放射線科に転進し、大変な努力をされて関西医科大学で放射線医学講座の初代教授となられました。松田先生は、片手で上手にオールを操り、必ずと言っていいほどクラブの行事に参加してくださって、ご自身の人生談を若い学生たちに話してくださいました。先生がお亡くなりになり、部葬でシェル艇から瀬田川にご遺灰を撒かせていただきました。御子息は、岸辺から直立不動で敬礼して先生を見送っておられました。

今、兵庫医科大学のクラブ活動に必要なことは、OBとの繋がりを深め、世代から世代に語り継がれる歴史を作ることだと思います。それが組織を強固なものとし、成績の向上につながり、卒業後何十年経とうとも自分が所属していたことに誇りが持てるクラブに成長させるのだと思います。学生諸君、OBの先生方、共にがんばって誇りを持てるクラブにしましょう！

兵庫医科大学

文部科学省高等教育局医学教育課長が本学を視察

平成２２年６月１５日、文部科学省高等教育局医学教育課新木課長(含計３名)が兵庫医科大学を訪問され、本学の教育及び病院の現状を視察されました。

新木課長は太城病院長、鈴木医学教育センター長の案内でNICU、リハビリテーション部、卒後臨床研修センター、医療人育成センター、救命救急センター等を見学し、麻酔シミュレーターや内視鏡シミュレーターの操作なども体験されました。

新家理事長、波田副理事長、中西兵庫医科大学長、松田兵庫医療大学長、太城病院長等との懇談において、新木課長は、医師不足に伴う医学部定員増に対するキャパシティの問題や地域枠で入学した学生に対する教育等について質問されるとともに、今後は医師の養成だけでなく、看護師やコメディカル等の人材育成と、チーム医療の充実が重要であると話しておられました。

麻酔シミュレーター室

兵庫医科大学

名誉教授称号授与

平成２２年４月１日付で３名の方に名誉教授の称号が授与されました。

波田　壽一　前学長
（平成２２年３月３１日付で任期満了により学長退任、
平成２２年４月１日付で副理事長就任）

山田　盛男　前主任教授（化学）
（平成２２年３月３１日定年退職）

守田　嘉男　前主任教授（精神科神経科学）
（平成２２年３月３１日定年退職）

平成２２年６月３０日、理事長室で授与式後に談話する新家理事長、波田前学長（現副理事長）、守田前主任教授、山田前主任教授（左から）

兵庫医科大学

学生が選ぶベストティーチャー賞　決定

平成２２年７月１日の教授会において、「平成２１年度学生が選ぶベストティーチャー賞」授与式が行われ、中西学長から表彰状（盾）と副賞（目録）が受賞者に手渡されました。

この賞は、毎年年間カリキュラム終了後に、学生の無記名アンケートによって決定されるもので、第１～第４学年次は授業担当教員別に、第５学年次は臨床実習の科別にアンケートを行います。平成２１年度は次の評価上位者の４名と２部門が選ばれました。

第１学年次

佐加良 英治 准教授
（動物実験施設）

第２学年次

長谷川 誠紀 主任教授
（呼吸器外科学）

第３学年次

田中 宏幸 講師
（産科婦人科学）

第４学年次

狩谷 伸享 准教授
（麻酔科学）

第５学年次
（クリクラ部門）

心臓血管外科グループ

第５学年次
（ポリクリ部門）

泌尿器科グループ

兵庫医科大学

平成２１年度　兵庫医科大学　教員及び大学院生学術賞　授与

平成２２年７月１日の教授会において、平成２１年度兵庫医科大学教員学術賞及び大学院生学術賞の授与式が行われ、中西学長から教員学術賞については表彰状（盾）と副賞（奨励金）が、大学院生学術賞については表彰状（盾）と記念品が贈られました。

【教員学術賞】

解剖学（神経科学部門）助教
三好 歓

内科学（循環器内科）助教
内藤 由朗

【大学院生学術賞】

先端医学専攻 疼痛情報制御系 疼痛神経科学
大久保 正道

学位論文名
Leukotriene synthases and the receptors induced by peripheral nerve injury in the spinal cord contribute to the generation of neuropathic pain

兵庫医科大学

就任挨拶

病理学講座（機能病理部門）
教授　中正　恵二
＜平成２２年８月１日就任＞

この度、病理学講座機能病理部門の教授を拝命致しました。昭和５８年に本学を卒業し、当時の内科学第四講座に入局、故下山孝教授の勧めもあって翌年４月から宮地秀樹教授の病理学第二講座に大学院生として入学しました。２１年間病理学第二講座に在籍した後、平成１７年７月に寺田信行主任教授の病理学第一講座に移り、現在に至っています。この間、故下山孝教授、大野忠嗣講師（現協和マリナホスピタル病院長）の「病理医にも現場の臨床医の知識や経験が必要になる」という考えに従い、同門の先輩諸氏のご助力を得て、内科医としての勤務を続けて参りました。

私は、内科医としての経験を生かすべく人体病理を中心に病理学を実践し、general pathologistを目指して精進していますが、未だ道半ばです。専門領域は肝胆膵領域の疾患で、肝胆膵外科ならびに内科の諸先生方の協力を得て各種の肝炎、肝腫瘍、膵腫瘍の病理組織学的解析を行っています。

生検・外科材料や術中迅速標本の診断能力を高めることは病理医の基本的責務ですが、私は診断業務に偏重することなく、剖検例の解析にも重きを置いています。病理医にとって最も重要な病態解明能力を向上させるには、剖検例を詳細に解析することが必要不可欠です。現疾患に加えて死に至る過程での複合的病態を論理的に解析することを心掛け、今後もより精度の高い病態解明を実践して参ります。

病理学への基本的姿勢を崩すことなく、本学の人体病理学の領域に寄与できるよう日々研鑽して行く所存ですので、今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

兵庫医科大学

就任挨拶

生理学講座（生体情報部門）
教授　永田　徹
＜平成２２年８月１日就任＞

このたび、生理学講座生体情報部門の教授に昇任させていただきました。昭和５１年、大学院修了を目前にして当時の指導教授から呼び出しがあり、「兵庫医科大学へ行きますか？それとも外国へ行きますか？」と問われ、即座に「外国へ行きたい」と答えていました。その後、まさか兵庫医科大学に赴任し、このように長くお世話になるとはその当時は全く考えもしませんでした。

カリフォルニア大学のロスアンジェルス校（ＵＣＬＡ）で、「解剖学的」「電気生理学的」両方の手法を用いて、四丘体上丘への体性感覚入力についての研究を行いました。その後、ブラジルのブラジリア大学でやはり「視覚系（上丘）」の仕事をしていたのですが、昭和５４年、本学の第２生理学講座の教授になられた林先生から、「兵庫医科大学に来て一緒に仕事をしてくれないか」というお誘いがあり、「視覚」と「眼球運動」の仕事をご一緒させていただきました。西崎先生が来られてからは、アルツハイマー病の治療に関する仕事をさせていただいております。

これからも教育、研究、同時に兵庫医科大学のクラブ活動（室内楽団）にも微力ではありますが、力を注いでいきたいと存じております。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

兵庫医科大学

平成２２年度　公的資金

（単位：千円）

区分	研究課題（プロジェクト）名	所属部署	職名	研究代表者等	事業費	交付（配分）予定額	備考
戦略的研究基盤形成支援事業（ハイテク・リサーチ・センター整備事業）	感染・炎症現象の解析と制御	免疫学・医動物学	主任教授	中西憲司	85,000	42,500	平成18年度～22年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業（社会連携研究推進事業）	細胞治療製剤プロセッシングシステム開発	先端医学研究所 細胞遺伝子治療部門	研究所教授	後藤章暢	24,700	12,350	平成18年度～22年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	次世代型造血細胞療法の基盤整備	先端医学研究所 細胞移植部門	主任教授	小川啓恭	11,000	5,500	平成20年度～24年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	難治性疼痛の分子メカニズム解明から治療戦略開発へ向けた研究拠点形成	解剖学 神経科学部門	主任教授	野口光一	28,000	14,000	平成21年度～25年度 文部科学省 ※研究設備費を除く
戦略的研究基盤形成支援事業	血管新生統御を基盤としたがん・循環器疾患治療法の開発研究拠点形成	内科学講座（循環器内科）	主任教授	増山　理	30,000	15,000	平成22年度～24年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	アレルギー性炎症:原因の解明と治療技術の開発	先端医学研究所 アレルギー疾患研究部門	研究所教授	善本知広	30,000	15,000	平成22年度～26年度 文部科学省 ※研究設備費を除く
科学技術総合推進費補助事業（科学技術振興調整費）	アスベスト関連疾患への総括的取り組み	内科学 呼吸器・RCU科	主任教授	中野孝司	94,545	94,545	平成18年度～22年度（独）科学技術振興機構
大学改革推進等補助金「がんプロフェッショナル養成プラン」	6大学連携オンコロジーチーム養成プラン		学　長	中西憲司	12,864	12,864	平成19年度～23年度 文部科学省
環境研究総合推進費	大気中粒子状物質の成分組成及びオゾンが気管支喘息発作に及ぼす影響に関する疫学研究	公衆衛生学	主任教授	島　正之	24,960	24,960	平成22年度～24年度 環境省
学術研究振興資金	抗利尿ホルモンV1a受容体によるRAS系制御機構の解明	内科学 腎・透析科	准教授	野々口博史	11,200	3,700	平成22年度 日本私立学校振興・共済事業団
合計					352,269	240,419	

平成２２年度教員研究費助成配分決定

【配分類】1件あたり800,000円（2年間で使用する）

研究課題	所属講座等	職名	氏名	所属長
2層グラフェン量子ホール効果における面内磁場の影響の研究	物理学	助教	寺澤　大樹	
ロペラミドをリード化合物とした新規抗腫瘍薬の開発研究	化学	助教	江嵜　啓祥	野坂　和人
下垂体前葉の恒常性維持における濾胞星状細胞の機能と分化要因の探索	解剖学（細胞生物部門）	助教	桒原　佐知	関　真
神経障害性疼痛発症におけるcaspase-1を介したサイトカイン活性化機構の解明	解剖学（神経科学部門）	助教	三好　歓	野口　光一
酸化ストレスによる鉄代謝異常とそのメカニズムの解明	生化学	助教	吉原　大作	鈴木敬一郎
グリア細胞機能の発現調節に関わる薬物を使用した薬理学的研究	薬理学	助教	長野　貴之	竹村　基彦
細胞内寄生性細菌に対するFasシグナル系を介した感染防御機構の解明	病原微生物学	助教	内山　良介	筒井ひろ子
都市部一般住民集団におけるCAVIと動脈硬化・炎症マーカーとの関連	環境予防医学	助教	東山　綾	若林　一郎
抑制性受容体CEACAM1によるヒト由来マスト細胞・マスト細胞腫瘍の制御	病理学（分子病理部門）	助教	片岡　竜貴	辻村　亨
運動による心不全発症抑制の分子機構の解明	内科学（循環器内科）	助教	廣谷　信一	増山　理
IL-18、エンドセリン、アルドステロンの動脈硬化、および血管老化に及ぼす影響	内科学（冠疾患科）	准教授	佐古田　剛	大柳　光正
内臓知覚の分子メカニズム	内科学（上部消化管科）	助教	近藤　隆	三輪　洋人
潰瘍性大腸炎(Ulcerative Colitis:UC)における末梢免疫機構の検討（末梢血T細胞：$CD25^{High}CD4^{+}$T-cellの検討、$CD28^{negative}$CD4+T-cellの機能追及）	内科学（下部消化管科）	助教	横山　陽子	松本　譽之
強迫性障害のドーパミン受容体感受性に関する臨床的検討	精神科神経科学	助教	林田　和久	松永　寿人
炎症を母地とする非定型消化器癌の発癌機構の解明と早期診断バイオマーカーの開発	外科学（下部消化管外科）	講師	松原　長秀	冨田　尚裕
マウス開腹術後癒着モデルにおける大建中湯の癒着形成予防効果の検討	外科学（小児外科）	助教	佐々木隆士	奥山　宏臣
活性酸素フリーラジカル除去による下肢血行再建術後の再灌流障害回避	心臓血管外科学	講師	山村　光弘	宮本　裕治
タッチパネルアンケートシステムを用いた顎関節症の診査・診断システムの構築に関する研究	歯科口腔外科学	講師	本田　公亮	浦出　雅裕
マスギャザリング医療ウェブレジストリシステムの構築	救急・災害医学	講師	久保山一敏	小谷　穣治
炎症性腸疾患のinfliximab投与等におけるテーラーメイド治療に関する研究	腸管病態解析学	特任助教	武田　直久	松本　譽之
慢性心不全患者におけるβ遮断薬導入による心機能の改善と酸化ストレスとの関連についての検討	超音波センター	助教	合田亜希子	飯島　尋子

兵庫医科大学

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(財)上原記念生命科学財団	上皮細胞からのサイトカイン(IL-18,IL-33)によるアレルギー発症機序の解明	善本 知広 （先端医学研究所（アレルギー疾患研究部門））	5,000
(財)武田科学振興財団	上皮細胞を起点としたアレルギー性炎症発症機序の解明	善本 知広 （先端医学研究所（アレルギー疾患研究部門））	10,000

平成２２年度大学院学生研究助成交付決定

（単位：千円）

番号	専攻	学年	氏名	研究課題	備考
1	医科学専攻 生体応答制御系病原微生物学	4	加藤　順子	Con A 肝炎における炎症性サイトカインを起点とした凝固亢進の重要性の解明	650
2	医科学専攻 器官・代謝制御系下部消化管疾患学	3	河野　友彰	カプセル内視鏡による術後クローン病の小腸残存病変の評価および早期再発の評価	650
3	医科学専攻 器官・代謝制御系腎臓病学	3	堀　加穂理	バソプレシンV1a受容体によるレニン・アンギオテンシン・アルドステロン系の制御機構の解析	500
4	医科学専攻 環境病態制御系法医学	4	足立　伸行	親水性有機リン系農薬アセフェートおよび代謝物メタミドホスの体内動態と毒性の解明	500
5	医科学専攻 器官・代謝制御系循環器病学	3	赤堀　宏州	大動脈弁狭窄症における弁内出血の意義	500
6	医科学専攻 器官・代謝制御系産科婦人科学	4	細田　容子	卵母細胞におけるインプリント遺伝子のメチル化に関する検討	500
7	医科学専攻 器官・代謝制御系肝胆膵外科学	4	大橋　浩一郎	腹部手術後における臓器癒着のメカニズムに関する研究	500

（注）番号は評価成績の順

兵庫医科大学

学位授与

氏　　名	専攻系/科目名	博　士　論　文　名	報告番号	授与年月日
吉川　昌平	内科系	Crucial role of impaired Kupffer cell phagocytosis on the decreased Sonazoid-enhanced echogenicity in a liver of a nonalchoholic steatohepatitis rat model (非アルコール性脂肪性肝炎ラットモデルのソナゾイド造影超音波の肝実質染影輝度の低下は、クッパー細胞の貪食能の低下に起因する)	甲第548号	H21.3.31
北村（松葉）沙織	外科系	Contribution of IL-33 to induction and augmentation of experimental allergic conjunctivitis (実験的アレルギー性結膜炎の発症と増悪へのIL-33の関与)	甲第549号	H21.3.31
森本(黒田)麻衣	医科学専攻	Contribution of IL-18 to eosinophilic airway inflammation Induced by immunization and challenge with *Staphylococcus aureus* proteins (黄色ブドウ球菌由来タンパクによる免疫および抗原投与で誘発される気道炎症におけるIL-18の寄与について)	甲第550号	H22.7.1
岡本　紀夫	神経眼科学	Preparation of Ophthalmic Formulations Containing Cilostazol as an Anti-glaucoma Agent and Improvement in Its Permeability through the Rabbit Cornea (シロスタゾール点眼液（抗緑内障薬）のウサギ角膜透過性の研究)	乙第320号	H22.6.3
高梨　秀一郎	心臓血管外科学	Coronary endarterectomy in the left anterior descending artery (冠動脈左前下行枝に対する内膜摘除術)	乙第321号	H22.7.1

兵庫医科大学

平成２３年度兵庫医科大学入学試験概要

一般公募制推薦入学試験

募集人員	約15名
試験科目	基礎学力検査、小論文、面接、調査書
出願期間	平成22年10月27日（水）～11月8日（月）必着
試験期日	平成22年11月14日（日）
試験場	兵庫医科大学
合格者発表	平成22年11月24日（水）

地域指定推薦入学試験

募集人員	5名以内 注）この選抜では、地域医療に貢献する強い意志と適性等を評価するため、合格者が募集人員に満たない場合がある。その場合、欠員は一般入学試験の募集人員に加える。
試験科目	基礎学力検査、小論文、面接、調査書
出願期間	平成22年10月27日（水）～11月8日（月）必着
試験期日	平成22年11月14日（日）
試験場	兵庫医科大学
合格者発表	平成22年11月24日（水）

※出願時点で、兵庫県内（神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市を除く）に保護者（父母。ただし、父母がいない場合は祖父母等）が1年以上在住していることが、住民登録等により確認できる者で、将来、当該地域における地域医療に貢献しようとする強い意志を持つ者が対象。

一般入学試験

募集人員	約80名
試験科目	第1次試験:数学（150点）、外国語（150点）、 理科（物理、化学、生物から2科目選択）（200点） 第2次試験:小論文（100点）、面接
出願期間	平成22年12月13日（月）～平成23年1月18日（火）　消印有効
試験期日	第1次試験:平成23年1月26日（水） 第2次試験:平成23年2月5日（土）または6日（日）（希望日を出願時に選択）
試験場	第1次試験:大阪会場：インテックス大阪／ 東京会場：五反田TOCビル／ 福岡会場：福岡商工会議所 第2次試験:兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験:平成23年2月3日（木） 第2次試験:平成23年2月14日（月）

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	約10名
試験科目	第1次試験:国語（近代以降の文章のみ）、 数学（数学I・数学A、数学Ⅱ・数学B）、 理科（生物Ⅰ、物理Ⅰ、化学Ⅰから2科目選択）、 英語（筆記・リスニング） ※理科について、3科目受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用 第2次試験:面接
出願期間	平成22年12月13日（月）～ 平成23年1月14日（金）　消印有効
試験期日	第1次試験:大学入試センター試験日 第2次試験:平成23年2月17日（木）
試験場	第1次試験:大学入試センターが指定する試験会場 第2次試験:兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験:平成23年2月10日（木） 第2次試験:平成23年2月22日（火）

平成２３年度兵庫医科大学大学院入学試験概要

平成２３年度大学院医学研究科入学試験

出願期間	前期:平成22年8月23日（月）～9月4日（土）/後期:平成23年1月24日（月）～2月5日（土）
試験期日	前期:平成22年9月17日（金）/後期:平成23年2月18日（金）
試験場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験　②面接（担当教授との面接が終了している場合には免除することがある）
合格発表	前期：平成22年10月8日（金）/後期：平成23年3月11日（金）

課程を経ない学位申請者に対する外国語試験（第５７回、５８回）

出願期間	第57回:平成22年8月23日（月）~9月4日（土）/第58回:平成23年1月24日（月）~2月5日（土）
試験期日	第57回:平成22年9月17日（金）/第58回:平成23年2月18日（金）
試験場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	第57回:平成22年10月8日（金）/第58回:平成23年3月11日（金）

※詳しくは平成２３年度学生募集要項をご確認ください

兵庫医科大学

平成２２年度兵庫医科大学キャンパス見学会を実施

平成２２年８月２日、入試制度、奨学金制度、キャンパス生活などを知っていただくために兵庫医科大学キャンパス見学会を実施し、約３５０名の受験希望者、保護者の方にご参加いただきました。

当日は関入試センター長による入試概要の説明に始まり、内科学（リウマチ・膠原病科）の佐野主任教授による模擬講義「リウマチ治療の最前線」が行われ、熱心に聴き入る参加者の姿が見られました。その後、自由に回れるキャンパス見学や、医学教育シミュレーター展示・体験コーナー、在校生との交流コーナー、平成記念会館見学ツアーなどにもご参加いただきました。特に内視鏡シミュレーターの体験コーナーでは順番待ちの行列ができ、最新の医療機器への関心の高さがうかがえました。個別相談コーナーにも多くのご参加がありました。

近畿地方では気温が３６度を超える猛暑日となりましたが、盛況のうちに無事終了しました。

入試概要説明

解剖室実習室の見学

内視鏡シミュレーターの操作体験

兵庫医科大学病院

大阪府枚方市にお住まいの青山さん 自作の絵本を小児病棟に寄贈

平成２２年７月８日、１号館７階小児病棟プレイルームにおいて、青山さんから「この絵本を読んで、楽しい時間を過ごしてくださいね」と入院中の子どもたちに自作の絵本が贈られました。

青山さんは国内各地の病院・施設に絵本を贈る活動を続けておられ、日本語の絵本はもとより、英語やスワヒリ語に翻訳されたものもあります。青山さんのご厚意に感謝し、太城病院長から感謝状が渡されました。

青山さんの今後益々のご活躍とご健康をお祈りします。

太城病院長（左）と青山さん

小児病棟プレイルームでの寄贈式
右は谷澤小児科診療部長

兵庫医科大学病院

病院機能評価Ｖｅｒ．６．０再受審について

兵庫医科大学病院は平成１７年１２月に（財）日本医療機能評価機構の病院機能評価Ｖｅｒ．４．０の認定を受けました。平成２２年１２月に認定有効期限の５年を迎えることから、平成２２年９月２９日－１０月１日に病院機能評価Ｖｅｒ．６．０を再受審します。

再受審に際しては、太城病院長が統括責任者、谷澤小児科診療部長が統括副責任者となって、評価項目７領域（①病院組織の運営と地域における役割 ②患者の権利と医療の質および安全の確保 ③療養環境と患者サービス ④医療提供の組織と運営 ⑤医療の質と安全のためのケアプロセス ⑥病院運営管理の合理性 ⑦精神科に特有な病院機能）ごとに評価チームを結成し、各々責任者を配置して準備に当たっています。

第三者機関に本学の病院機能を体系的に評価していただくことは、①病院の現状を客観的に把握できる ②医療の質と効果的なサービスの改善のきっかけになる ③効果的で具体的な改善目標設定が可能になる ④指摘を受けた問題点について全職員が共通した認識を持つことができ、改善意欲が向上して主体的な取り組みが期待できる、などのメリットがあります。

また、認定医療機関となれば、患者さんや地域医療機関からの信頼を一層向上させることができると期待されます。

ささやま医療センター

リニューアルオープン記念 市民公開講座「地域医療の新たな視点」を開催

平成２２年６月１日の兵庫医科大学ささやま医療センターのリニューアルオープンを記念し、６月２６日、篠山市民センターにおいて市民公開講座「地域医療の新たな視点」を開催しました。内容は「食」「家庭医療」「生きる喜びと健康観」から地域医療の今後のあり方を考えよう、というものです。

当日は朝から雨が激しく降り、時折強風に見舞われる天候にもかかわらず、遠方からの来場も含め多くの方々にご参加いただきました。講演中は会場が笑い声に包まれる場面も多々あり、終始和やかな雰囲気で、各講演後に質問をされる参加者の姿も見られました。

○開会の挨拶：学校法人兵庫医科大学　新家荘平 理事長
○来賓挨拶　：篠山市　酒井 隆明 市長
○講演
　①「食」と地域医療
　　兵庫医科大学ささやま医療センター　福田 能啓 病院長
　②地域医療における家庭医の役割
　　ミシガン大学医学部家庭医療学 前准教授
　　財団法人 家庭医療学研究所　佐野 潔 理事
　③地域医療と健康観
　　日本ホリスティック医学協会会長
　　帯津三敬病院　帯津 良一 理事長
○閉会の挨拶：兵庫医科大学ささやま医療センター　池田 義和 副院長

財団法人
家庭医療学研究所
佐野 潔 理事

兵庫医科大学
ささやま医療センター
福田 能啓 病院長

帯津三敬病院
帯津 良一 理事長

兵庫医療大学

兵庫医療大学薬学部・兵庫医科大学病院合同イベント「“クスリ”のお仕事、のぞいてみませんか？」を開催

平成２２年６月１９日(土)、兵庫医科大学西宮キャンパスにおいて、兵庫医療大学薬学部・兵庫医科大学病院合同イベント「“クスリ”のお仕事、のぞいてみませんか？」を開催しました。薬学部教授の講演と薬剤部薬剤師のフリートークに続き、特別イベントとして学生限定の薬剤部見学会を行い、薬学部を志望する学生の方に加え、一般の方にも多く参加いただきました。

参加した学生の方々からは「海で薬のもとが取れるということを初めて知りました。薬学部に入学して(薬のことを)もっと知りたいと思いました」「薬剤部の見学をして、(薬剤師の仕事が)チーム医療を実践する本当にやりがいのある仕事だということがよく分かりました」などの感想が寄せられました。

第1部　薬学部教授による講演

■「製薬会社でのクスリ作りをこっそりお教えします！」
田中 明人教授(創薬化学担当)が元製薬会社主席研究員の経験を活かして、製薬会社でのクスリ作りの裏側を詳しく話しました。

■「海に潜って薬を探す？身近な？意外な？クスリの成分」
青木 俊二教授(天然薬物学担当)が多数の写真を見せながら、クスリの成分と自然との意外なつながりについて話をしました。

第2部　現場の薬剤師によるフリートーク

「ご存知でした？病院薬剤部ってこんなところ」
兵庫医科大学病院薬剤部の室 親明次長、今井 扶美子薬剤師、植田 貴史薬剤師が、働く薬剤師の実態を紹介しました。

特別イベント　薬剤部見学会(学生対象)

普段は見ることができない病院薬剤部を見学してもらいました。

兵庫医療大学

平成２２年度兵庫医療大学オープンキャンパスを実施

兵庫医療大学をもっと知っていただくためにオープンキャンパスを開催しました。第１・２回目となる８月７日、８日には、両日あわせて約１，６００名の高校生・保護者にご参加いただき、特に８日(日)は過去最高記録となりました。(８月２１、２２日に第３・４回を実施)

当日は、大学総合ガイダンスとして、松田学長による大学概要紹介をはじめ、各担当教員からチーム医療教育、入試・奨学金制度、学生生活支援・就職支援体制等についての説明がなされ、熱心に聴き入る参加者の姿が見られました。その後、各学部・学科ごとに実施された様々な体験実習や在校生交流コーナー、個別相談、キャンパスツアーなどにご参加いただきました。

薬学部　「軟膏作り体験」

看護学部　「点滴準備体験」

リハビリテーション学部 理学療法学科
「義足体験」

リハビリテーション学部 作業療法学科
「片マヒ体験」

兵庫医療大学

平成２３年度兵庫医療大学入学試験概要

推薦入学試験

(専願制)

募集人員	薬学部 医療薬学科　25名 看護学部 看護学科　30名 リハビリテーション学部 理学療法学科　10名 リハビリテーション学部 作業療法学科　15名
試験科目	薬学部:外国語(100点)、理科(化学)(150点)、調査書(50点) 看護学部:外国語(150点)、小論文(100点)、調査書(50点) リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科: 外国語(150点)、小論文(100点)、調査書(100点)
出願期間	平成22年10月27日(水)～平成22年11月5日(金)消印有効
試験期日	平成22年11月13日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成22年11月25日(木)

(併願制Ａ日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　10名
試験科目	外国語(100点)、理科(化学)(150点)、調査書(50点)
出願期間	平成22年10月20日(水)～10月29日(金)消印有効
試験期日	平成22年11月6日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成22年11月16日(火)

(併願制Ｂ日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　10名
試験科目	理科(化学)(150点)、調査書(50点)
出願期間	平成22年11月17日(水)～11月29日(月)消印有効
試験期日	平成22年12月4日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成22年12月10日(金)

大学入試センター試験利用入学試験

(前期日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　5名 看護学部 看護学科　5名 リハビリテーション学部 理学療法学科　2名 リハビリテーション学部 作業療法学科　2名
試験科目	薬学部: 理科①(化学Ⅰ)、理科②(生物Ⅰ、物理Ⅰから1科目選択)、英語(筆記・リスニング) 看護学部: 国語(近代以降の文章)、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰから1科目選択)、英語(筆記・リスニング) リハビリテーション学部 理学療法学科: 国語(近代以降の文章)、数学①(数学Ⅰ、「数学Ⅰ・数学A」から1科目選択)、数学②(数学Ⅱ、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択)、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰ、物理Ⅰから1科目選択)、英語(筆記・リスニング) ※外国語、国語、数学、理科の4教科から3教科選択、4教科を受験した場合は高得点の3教科を合否判定に使用 リハビリテーション学部 作業療法学科: 国語(近代以降の文章)、数学(数学Ⅰ、「数学Ⅰ・数学A」から1科目選択)、英語(筆記・リスニング)
出願期間	平成23年1月6日(木)～ 平成23年1月25日(火)消印有効
合格発表	平成23年2月10日(木)

(後期日程)

募集人員	看護学部 看護学科　3名
試験科目	看護学部:国語(近代以降の文章)、 理科(化学Ⅰ、生物Ⅰから1科目選択)、英語(筆記・リスニング)
出願期間	平成23年3月9日(水) ～ 平成23年3月22日(火)消印有効
合格発表	平成23年3月25日(金)

※詳しくは平成２３年度学生募集要項をご確認ください

一般入学試験

(前期Ａ日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　40名 看護学部 看護学科　57名 リハビリテーション学部 理学療法学科　約25名 リハビリテーション学部 作業療法学科　約12名
試験科目	薬学部:外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学)(100点) 看護学部:外国語(100点)、国語(100点)、理科(化学、生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科: 外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学、生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 作業療法学科: 外国語(100点)、国語(100点)、理科(化学、生物から1科目選択)(100点)
出願期間	平成23年1月6日(木)～1月25日(火)消印有効
試験期日	平成23年2月2日(水)
試験場	薬学部、リハビリテーション学部:兵庫医療大学 看護学部 :神戸ポートアイランドホール(通称：ワールド記念ホール)
合格発表	平成23年2月10日(木)

(前期Ｂ日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　25名 リハビリテーション学部 作業療法学科　約8名
試験科目	薬学部:外国語(100点)、理科(化学)(200点) リハビリテーション学部 作業療法学科: 外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学、生物から1科目選択)(100点)
出願期間	平成23年1月6日(木)～1月25日(火)消印有効
試験期日	平成23年2月3日(木)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成23年2月10日(木)

(前期Ｃ日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　15名
試験科目	理科(化学)(100点)、外国語・数学(１教科選択、2教科を受験した場合は高得点の1教科を合否判定に使用)(100点)
出願期間	平成23年2月3日(木)～2月14日(月)消印有効
試験期日	平成23年2月19日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成23年2月25日(金)

(後期日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科　10名 看護学部 看護学科　5名 リハビリテーション学部 理学療法学科　若干名 リハビリテーション学部 作業療法学科　若干名
試験科目	薬学部:外国語(100点)、数学(100点)、理科(化学)(100点) 看護学部:外国語(100点)、国語(100点)、理科(化学、生物から1科目選択)(100点) リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科: 外国語(100点)、小論文(100点)、理科(化学、生物から1科目選択)(100点)
出願期間	平成23年2月10日(木)～2月18日(金)消印有効
試験期日	平成23年2月26日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成23年3月8日(火)

看護学部看護学科　３年次編入学試験

募集人員	看護学部 看護学科　10名
試験科目	英語、専門科目(基礎看護学、母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学を包括して出題)、面接
出願期間	平成22年8月30日(月)～平成22年9月7日(火)消印有効
試験期日	平成22年9月11日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成22年9月17日(金)

※出願資格
次に挙げる要件のいずれかに該当する者
(1)看護系短期大学を卒業した者、または平成２３年３月に卒業見込みの者。
(2)看護系専修学校の専門課程(修業年限が２年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が１，７００時間以上)を修了した者、または平成２３年３月修了見込みの者。ただし、学校教育法第９０条に規定する大学入学資格を有する者。

学校法人兵庫医科大学

規程等の制定・改正（規程等の全文はグループウェアに掲載）

No.	項　目	制定・改正の趣旨	制定・改正日
1	兵庫医科大学における任期を定めて採用する教員に関する規程	主任教授を5年任期制で採用するため改正。	平成22年4月1日
2	兵庫医科大学入試センター規程	「入試企画等検討委員会」の設置に関する改正。	平成22年6月15日
3	兵庫医科大学入試運営委員会規程	「入試企画等検討委員会」の設置に伴い、協議事項及び構成員を見直すため改正。	平成22年6月15日
4	兵庫医科大学病原体等安全管理委員会規程	病原体等安全管理規程の制定に伴う委員会規程の制定。	平成22年6月15日
5	医療安全管理規程	医療事故発生時の届出方法等について、従来の規程の内容をより明確にするため改正。	平成22年7月6日
6	医療安全管理委員会規程	同上	平成22年7月6日
7	兵庫医科大学病院虐待防止対策委員会規程	臓器の移植に関する法律の運用に関する指針（ガイドライン）一部改正に伴い、虐待を受けた児童への対応のための院内体制を整備するため制定。	平成22年7月6日
8	兵庫医科大学病院医療事故外部調査委員会規程	本院で発生した医療事故について、医療の透明性の確保や医療安全の向上を図ることを目的として、同委員会を設置するため制定。	平成22年7月6日
9	兵庫医科大学病院脳死判定に関する委員会規程	臓器の移植に関する法律の改正に伴う改正。	平成22年7月27日
10	兵庫医科大学病院脳死下臓器提供に関する委員会規程	同上	平成22年7月27日
11	臨床倫理小委員会規程	本院で発生する臨床倫理的諸問題について、情報を把握して分析・対応する組織的な場として兵庫医科大学倫理委員会の下に臨床倫理小委員会を設置するため制定。	平成22年7月27日
12	理学療法士及び作業療法士レジデント取扱内規	兵庫医療大学リハビリテーション学部の卒業生に本院における臨床研修の機会を与え、より質の高い理学療法士及び作業療法士を育成するため制定。	平成23年4月1日
13	兵庫医療大学研究推進委員会規程	兵庫医療大学における学術研究活動の活性化を目的として、研究推進委員会を設置するため制定。	平成22年7月6日
14	兵庫医療大学大学院運営委員会規程	兵庫医療大学大学院における研究科相互の円滑な連携及び運営を図る目的で大学院運営委員会を設置するため制定。	平成22年7月6日
15	学校法人兵庫医科大学資金運用内規	安全性を重視した慎重な資産運用を行うため改正。	平成22年6月15日
16	情報センター運営協議会規程	情報センター運営協議会の構成員に情報センター長及び情報担当理事を含め、責任体制を明確化するため改正。	平成22年6月15日
17	兵庫医科大学安全衛生管理組織規程	安全衛生委員会の構成員を労働者代表からの推薦による者が過半数を占めるよう改正。	平成22年7月1日
18	兵庫医科大学安全衛生委員会規程	同上	平成22年7月1日
19	予算統制要領	予算の適正かつ効率的な運用を図ることを目的として、予算の編成、執行及び統制にかかる手続きを定めるため制定。	平成22年7月6日
20	学校法人兵庫医科大学情報センター規程	情報センターの業務を明確にするため、①教育・研究・メディア部門、②基幹整備部門、③事務情報化推進部門、④医療情報部門の４部門に分割するため改正。	平成22年7月27日
21	経営企画室規程	経営企画室と経営企画協議会の再編に伴う改正。	平成22年7月27日
22	経営企画協議会規程	同上	平成22年7月27日
23	学校法人兵庫医科大学ハラスメント防止等に関する規程	ハラスメントの概念が多様化してきたことに伴い、「兵庫医科大学セクシュアル・ハラスメント防止等に関する規程」を廃止し、当該規程を新たに制定。	平成22年7月27日

兵庫医科大学　兵庫医科大学病院　兵庫医療大学　学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学基金　状況報告

本学校法人は、平成２２年４月１日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（募金推進室）

H21.1.1～22.6.30

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	77件	17,355,000円	95件	7,127,498円	172件	24,482,498円
入　金	74件	16,105,000円	94件	6,897,498円	168件	23,002,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H22.4.1～22. 6.30

企業等法人（11法人）

500,000円　全兵庫個人タクシー事業協同組合阪神支部様
25,000円　株式会社全国介護タクシー協会様

（ご芳名のみ記載）
有限会社　宝塚新樹園様
株式会社　奥村組様
株式会社　フジマック様
アサヒブリテック株式会社様
サンベビー株式会社様
東京メディカルサポート株式会社様　匿名　3社

関連病院等（5法人）

（ご芳名のみ記載）
医療法人朗源会　大隈病院様
医療法人　医真会様
医療法人讃和会　友愛会病院様
社会福祉法人恩賜財団済生会　兵庫県病院様　匿名1法人

教職員（4名）

10,000円　美内　雅之様

（ご芳名のみ記載）
波田　壽一様
谷　和彦様
匿名　1名

その他個人（15名）

50,000円　玉木　明美様
50,000円　玉木　真澄様
25,000円　中岡　和夫様
10,000円　米原　知之様

（ご芳名のみ記載）
井上　照子様
黒田　脩様
黒田　正子様
熊本　茂美様
勝木　義人様
匿名　6名

学校法人兵庫医科大学

山田人材対策室長が日本看護協会長表彰を受賞

山田 繁代人材対策室長が平成２２年度日本看護協会長表彰を受賞しました。この賞は、看護協会の会員歴が２０年以上で、看護協会役員・委員として貢献し、また看護業務に顕著な功績を残した方を都道府県看護協会が推薦し、日本看護協会が表彰するものです。今回、兵庫県看護協会の推薦を受けて山田室長の受賞が決定し、平成２２年６月８日、横浜アリーナで表彰式が行われました。

山田室長は昭和４９年に兵庫医科大学病院に入職、平成７年に看護部長となり、平成１６年から兵庫医科大学病院副院長、平成１９年から兵庫医科大学附属看護専門学校（平成２１年閉校）学校長を併任され、看護部長退任後の平成２２年から人材対策室長を専任されています。

「元気に仕事を続けてこられたことを嬉しく思います。多くの患者さんとめぐり合い、いろんな人生の勉強をさせていただきました。またすばらしいスタッフたちに支えられ仕事をしてこられたことが一番の幸せです。この賞は皆さんのおかげ、と感謝しています。」

SERIES 海外便り 第1回(全3回)

～海外で活躍する研究者からのメッセージ～

略歴

平成6年	兵庫医科大学卒業
平成6年	兵庫医科大学第一外科入局
平成8年	尚和会第一病院　外科
平成10年	協和会協立病院　外科
平成11年	兵庫医科大学大学院入学
平成14年	同　修了
平成16年	Columbia University, Postdoctoral Research Fellow
平成19年	現職

石（せき） 亦宏（えきひろ）

University of California San Diego, School of Medicine
Department of Medicine
Assistant Research Scientist

当初２年の予定だったアメリカ留学が、早いもので６年になりました。私の在籍するカリフォルニア大学サンディエゴ校 (以下UCSD)は、サンディエゴのラホヤ地区にあります。ここは、年中常春というアメリカ一住み易さに定評のある地域です。と同時に、非常に恵まれた研究環境を有していて、UCSDを始め、スクリプス研究所、ソーク研究所、バーナム研究所、ラホヤ免疫アレルギー研究所やbiotech companyが集中しています。UCSDには、GFPを応用した研究を世界に広め、一昨年度のノーベル賞受賞者Roger Tsienも在籍しており、理想的な基礎医学研究環境を有しています。

現在の私の研究テーマは、肝硬変・線維症および肝癌発症メカニズムを自然免疫シグナルに着目し、免疫生化学的アプローチによる病態解明と新規治療法を開発することです。自然免疫受容体Toll-like receptorシグナルの肝臓の構成細胞であるKupffer細胞、肝細胞および肝線維化の責任細胞である肝星細胞における生理学的病理学的役割の解明を中心に研究を進めております(これらの成果は２００７年Nature Medicine誌、２００９年Journal of Clinical Investigation誌及び２０１０年PNAS誌において発表。米国肝臓学会２００６年Fellow Research Prize及び２００９年Research Scholar Award受賞)。現在は、UCSD医学部長ブレナー教授主催の研究室での研究活動の傍ら、自ら主催する独立研究室立ち上げの準備をすすめています。

兵庫医科大学は、大学病院における臨床診療と先端医学研究所を始めとした基礎医学研究の両方を強く推進している一方で、プレッシャーのないアットホームな校風による絶妙なバランスがうまく引き出された学校であると思います。兵庫医科大学の学生諸君には、このような環境で、充実した医学教育及び研究の場を最大限に活用してほしいと思います。

多彩人 “ロックバンドを愛する”多彩人

共通教育センター教授
磯 博行さん

兵庫医療大学 共通教育センター教授の磯 博行さんは教職員ロックバンドを結成し、学内イベント等で活動している。きっかけは、顧問をしている軽音楽部の学生からの「先生もやりませんか？」という言葉。仲間を募ると「結構“やりたがり”が沢山いた」。１０名ほどのメンバーが集まり、自身はサイドギターとボーカルを担当する。

平成２１年１２月の学内ライブ

兵庫医科大学の教員時代にも教職員バンドを結成していたが、ここ３０年は活動から遠ざかっていた。「６０歳を過ぎ、再びできるだろうか？」という不安は、練習で感覚を取り戻し「やれる！」という思いに変わった。「学生や隣接する大学と交流したい。地域全体を盛り上げるような『ポートアイランド音楽祭』もやってみたい」と意欲的だ。

バンド活動を通じて部署や世代を超えて仲間意識が高まったと感じる。「遠慮して言えない」ということが少なくなった。「大学は教育と研究のための施設ですが、運営には教職員の横のつながりが大切。本学のモットーである『ボーダレス』『チーム医療』を“遊び”を通じて体現しようということです」

ビートルズファン。今は他のメンバーが演奏しやすい曲を優先しているが、いつかビートルズをやりたい。学生時代に大学の交響楽団でコントラバスを弾いていた経歴も。

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している”多彩人“の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。
＜電話：０７９８－４５－６６５５　メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞

学務部研究技術第１課は共同利用研究施設(通称「共同研」)と視聴覚教育センターの実務を担っています。

共同研は、微細形態、生体機能、分析調製、組織培養、遺伝子工学、ＲＩ実験、データ処理、一般共通(工作)の８分野で構成され、研究者や大学院生が共同利用できる研究機器を備えています。プロフェッショナルなスタッフが機器の取扱説明、保守管理、依頼分析を行い、基礎から高度な研究まで本学の様々な研究を支え、廃液処理施設の業務も兼任しています。

視聴覚教育センターでは、最新のデジタル技術を駆使したビデオ撮影、編集、高品質な印刷などが行える機器を備え、医学教育用コンテンツを制作したり、インターネットを利用した学習支援体制を構築するなど、多様な手段で医学教育をサポートしています。

REPORT 職場リポート

知る人ぞ知る、プロフェッショナルなサポーター

兵庫医科大学　学務部研究技術第１課　課長補佐　足立（あだち） 伸行（のぶゆき） さん(右)　**主任**　橋本（はしもと） ゆかり さん(左)

安全かつ安心して研究を行える場に ― 足立さん

現在、組織培養、ＲＩ実験の業務と、廃液処理施設の業務(兼任)を担当しています。研究機器を取り扱う企業で働いていた経験を活かしたい、という思いがあり１０年前に転職しました。

正確なデータを得るには、機器の保守管理が欠かせません。また、遠心機や高温・高圧で滅菌するオートクレーブなど、取り扱いを誤れば大事故に繋がりかねない機器もあり、正しい操作方法を理解してもらうことが重要です。日頃からスキルアップに努め、実験や機器に関する最新知識・技術を習得し、利用者にも還元できるように心がけています。

「良いデータが得られた」と利用者に喜んでもらった時、トラブルに迅速に対処して貴重なサンプルを無駄にせずデータを得られた時などは、特にやりがいを感じます。これからも正確で再現性のあるデータを常に得られる環境を整備し、共同研を「安全かつ安心して研究を行える」場にしていきたいと考えています。研究技術講習会や実験技術講習会など、大学院生や若手研究者が研究の基礎を学べる機会も設けています。ここで得たものを研究成果に繋げていただけると嬉しいですね。

質の高い医学教育教材を提供したい ― 橋本さん

現在、教育用デジタル画像の補正やプリント、e-learningなどインターネットを利用した教材作成支援を担当しています。依頼者の希望をどのような手段で実現させるか、最終目的は何か、共に掘り下げながら進めていく仕事も多くあります。時間はかかりますが、依頼者が表現しきれていない要望やイメージを引き出すことが質の高いアウトプットに繋がり、やりがいを感じます。

日々の業務では、細かく目標を設定してクリアすることを心がけています。どのような仕事でも長く続けると単調になりがちですが、「前よりも良いものを提供したい！」という意識で臨んでいます。

「本学オリジナル」の質の高い医学教育教材を提供するために、伝統を受け継ぎつつ、新しいことにも挑戦したいですね。平成２２年４月に医学教育センターと協同して導入したe-learningでは、レポート提出や資料配信を中心に活用しています。ユーザーである学生と接する機会が増えましたが、学生の反応は１００人１００様で面白いですよ。コンテンツ作成の参考にもなります。

１０－７病棟は呼吸器・RCU科とペインクリック部の病棟で、主に、中皮腫、肺癌などの呼吸器疾患、脊椎関連疾患、疼痛などの痛みの疾患をもつ患者さんが入院されています。慢性期からターミナル期までの患者さんが多くおられ、化学療法や放射線療法、対処療法などを受けられています。

重症の患者さんもおられ、より慎重なケアが求められますが、現在２６名のスタッフは明るく元気に働いています。

REPORT 職場リポート

患者さんのために、スタッフのために、頑張ります！

兵庫医科大学病院　看護部　１０－７病棟　看護師　石本 芽久（いしもと めぐ）さん

１年目を振り返って

入職して２年目です。１年目の頃は看護師であると同時に、社会人として「働く」こと自体が初めてのことなので、覚えることも多く日々の業務についていくだけで精一杯でした。患者さんとコミュニケーションが取れているだろうか？先輩の足手まと

いになっているのでは？と落ち込むこともありましたが、師長や先輩方はいつもサポートしてくださり、３名いる同期と互いに励ましあって乗り越えてきました。

２年目の今、少しだけ余裕を持てるようになった気がします。少しずつ重症の患者さんのケアをさせていただく機会も増えました。休みの日には遊びに出かけるなど、オン・オフを切り替えて、新たな気持ちで仕事に臨んでいます。

よく看ること、寄り添うことが大切

患者さん個々の状態をよく観察して、何か必要なことはないかを自ら考えることが大切だと思っています。そして先輩と対処法を相談しながら実践し、その結果、わずかでも状況がよくなった時はとてもやりがいを感じます。

病棟には主に慢性期からターミナル期までの患者さんが入院されており、患者さんやご家族は、治療やこれからのことについて様々な不安を抱えておられます。出来る限りお話を聞かせてもらって、少しでも不安な気持ちを和らげてもらえれば嬉しいですね。

患者さんのために、スタッフのために

わからないこと、不安に思うことは必ずリーダーや先輩方に確認するように意識しています。忙しくされている先輩方に声をかけるのは気がひけ、遠慮してしまいそうになりますが、一つひとつのことをきちんと確認し、患者さんにより安全なケアを提供していきたいと思います。

秋から人工呼吸器を装着している患者さんを担当させていただく予定です。生命にかかわる重要な医療機器を扱うことになるので、今から少しずつ勉強をしています。早く自立して仕事が出来るようになって、患者さんはもちろん、病棟スタッフの役に立ちたいです。

篠山事務部は庶務課、会計課、医療介護事務課、医療情報・病歴課、老健管理課からなり、現在３８名が所属しています。部署の壁を越えた強い結束力で、平成２２年６月の旧篠山病院からささやま医療センターへのリニューアルオープンを支えました。

センターがオープンしてから３ヶ月が経ち、慌しさは終息し落ち着きを取り戻しました。新たに導入された電子カルテシステムも安定稼動しており、患者さんをお待たせすることもなく、順調に診療が行われています。

縦横の情報連携がとてもよく、自由闊達な雰囲気の中、一人ひとりが自己の役割を認識しながら、「何かあれば現場に駆けつける」スタンスで頑張っています。

REPORT 職場リポート

現場第一主義です

兵庫医科大学ささやま医療センター　篠山事務部会計課　課長補佐　小林 雄一郎（こばやし ゆういちろう）さん

病院リニューアルの仕事で自信

会計課は現在３名で、経理、補給管理、営繕、各種契約業務などの会計業務全般を行っています。私は主に、経営指標を作成する際のささやま医療センター及び老人保健施設の収支実績の集計、物品類の調達作業、各種委託契約の見直しなどを担当しています。

リニューアルオープンの仕事では、医療機器の購入や、給食、売店をはじめとする委託契約の見直し等、関係部署と協同しながら業務にあたりました。限られた予算とスケジュールの中、「失敗は許されない」というプレッシャーをはねのけ、仕事をする上での自信がつきました。「病院リニューアル」という歴史的な瞬間に立ち会えたことは、かけがえのない財産になりました。

チーム医療の一員であるという意識

篠山事務部は結束力が強く、また、一人ひとりが自分の役割を認識し、状況に応じた対応ができる行動力を備えているスタッフが多いと思います。この強い結束力と行動力で、旧病院の業務と新病院への移設準備、内覧会や記念式典、講演会のイベントなど、やるべきことが尽きないリニューアルオープンの時期を乗り越えることができたと思っています。

このように働けるのは、「チーム医療の一端を担っているという意識が皆にあるからだと思います。

直接自分の目で確認する

今は医療を取り巻く環境も、患者さんのニーズも、刻々と変化する「前例」が通用しない時代です。何が起きても臆せず「現場に赴き、直接自分の目で確認する」ことを第一としています。本来はこだわりのない性格ですが、仕事をする時は「しつこいくらい」に粘り強く物事に取り組むのが丁度良いと思っています。

事務方の仕事は「何事もなくて当たり前」で、病院全体が円滑に稼動するためのサポートが中心です。だからこそ、そこに「自分らしさ」「人間味」を出していきたい。何かスムーズに行かないことがあっても、「小林さんのお願いなら聞いてもいいよ」なんて言ってもらえたら嬉しいですね。